



平成23年度 北中物語

第3号(平成23年4月15日号)

文責:校長 中村 裕子

校長学校用メールアドレス

yuko-nakamura@staff.gsn.ed.jp

生徒の皆さんへ

この最初の1週間は、本年度を決める1週間だったのですよ!

最近のCMに「小さな仕事をできないやつに、大きな仕事は頼めない」というのがあります。これはまったくその通りで、大人の世界では当然のことです。そしてこれ、実は、皆さんの学校生活にも言えることなのです。言い方を学校版に替えてみますと、「新学期最初の1週間にできないことが、あとからできるはずがない」ということになります。誰だって張り切る、よく変わろう、もっとがんばってみよう・・・などと思っているのですから、それが行動になりやすいのがこの1週間だったのです。では聞きます。家庭学習は思ったようにできていますか? 忘れ物はしないでいますか? 他の人に嫌なことを言ったり、やっていたりしてませんか? 部活動は真剣に取り組んでいますか? さあどうでしょうか・・・。仮に、これが十分でない人は、次の目標を4月29日頃に定めて、やり直してください。

(4月29日と指定したのは、人間の習慣は、2週間でできると言われています。今日から2週間後が4月29日です) そして、これを覚えておいてください。「努力できることも実力のうち、努力できないことも実力のうち」ということ・・・。

「伸びゆく北中、拡がりゆく北中、美しくなりゆく北中、強くなりゆく北中」の中にしっかり入っていきましょうね。先生方は、633人全員をこの中にしっかり連れて行く覚悟なのですから。。。

さあ、諸活動が本格化します。みんなで思いを伝えよう、そして「行動」をどんどん起こそう!!

「授業で勝負」

全ての学習の基本は「授業」です。これをいい加減にして、願いを叶えた人はいない!!

「先手必勝の挨拶」

元気、さわやかさを自分から相手に与える、これが「質の高い挨拶＝人格をつくる」となる!!

「心を磨く清掃」

清掃にしっかり取り組むとは、自分自身を向上させているということ。清掃をきちんとできる人に失敗者はいない。

我が子の中学校卒業後の進路を考える

日本の4月は入学・進学・進級・就職等、門出の喜びの月、保護者の皆様もお子さんの成長にさぞかしお喜びのことと思います。

中学校の3年間は、義務教育9年間のまとめの時期でもあります。中学校に入学して2年9ヶ月すると、卒業後の進路先の決定をしなければなりません。子どもの夢や将来の希望は何なのか、保護者自身の子どもへの希望や考えを伝えるなど、子どもと会話が必要になります。ところが、小学生の頃までは親の言うことを素直に受け入れてきた我が子も、身心の成長とともにまた、友人や教師の言うことが素直に受け入れられず、悩んだり、怒りっぽくなったりするものです。だからこそ、日ごろからお子さんとの会話を大切にしていくなことが必要なのです。「進路先決定」がもう後には引き伸ばせない時になって、話を始めるようでは、残念ですが、「納得のいく進路先決定」とはいきません。

子どもが学校での様子を話す時しっかり聞いてあげる。聞きながら親の考えを話すこともできます。親の希望も語れます。親自身が語る苦労話や感動の話に子どもは、真剣に共鳴しながら聞くものです。子どもたちは、親の中学生時代の話を、たくさん聞きたいのです。特に親の中学生時代を知りたいのです。

一方、我が子の友人が誰なのか知っておくことも大切です。我が子の保護者と連携をとることも極めて大切です。中学校では部活動が盛んになりますが、練習試合や大会出場にあたって保護者の応援があり、懇親の機会がありますので積極的に参加され親同士が仲良くなることは子どもの成長過程において意義あることだと思います。なかなか学校の様子を語ってくれない子どももいますが、自分では語りたくないような、恥ずかしいような気持ちでいるのです。もしかしたら、親の話しかけや質問を待っているのかもしれないかもしれません。友人のこと、学習のこと、部活動のこと、進路のこと等をどうしていいのか迷っているのかもしれないかもしれません。中学校時代こそ、おむつを取り替えてあげた頃のあの優しさや見守りが必要なのです。どうぞ、どしどし話しかけて会話を増やしてください。夕食時に家族団らんを持つこと、朝夕の声かけは子どもにとって何よりのエネルギーとなります。親子の会話が自然に進めば進路についての話もうまく進みます。義務教育9年間の総和は、中学校卒業時の進路決定にあります。

我が子が最も自分に適した進路先に向かって巣立ってくれる日まで、残された時間はそんなに多くはありません。日々の会話を第一に進めてください。(仮に、「会話がない」などというご家庭でも、新学期の今がそのチャンスです。重ねてお話ししますが、子どもは親と話をしたくてたまらないのです・・・。

中学生の親が今すべきこと、それは朝夕の食事の世話、北中の教育活動への積極的な参加、そして「会話」です。

本校では、本年度、全教職員が生徒への意図的な声かけ、思いの伝え合いを実践していきます。(すでに実践しております)



